那須の花
レンゲ

童謡「春の小川」の情景のように、どの田んぼでも草肥として一面に咲いていたレンゲ。
最近、化学肥料に押されて見ることが少なくなりましたが、有機農法志向なのか、復活したところも見受けられ、妙に懐かしい気がます。

那須の風

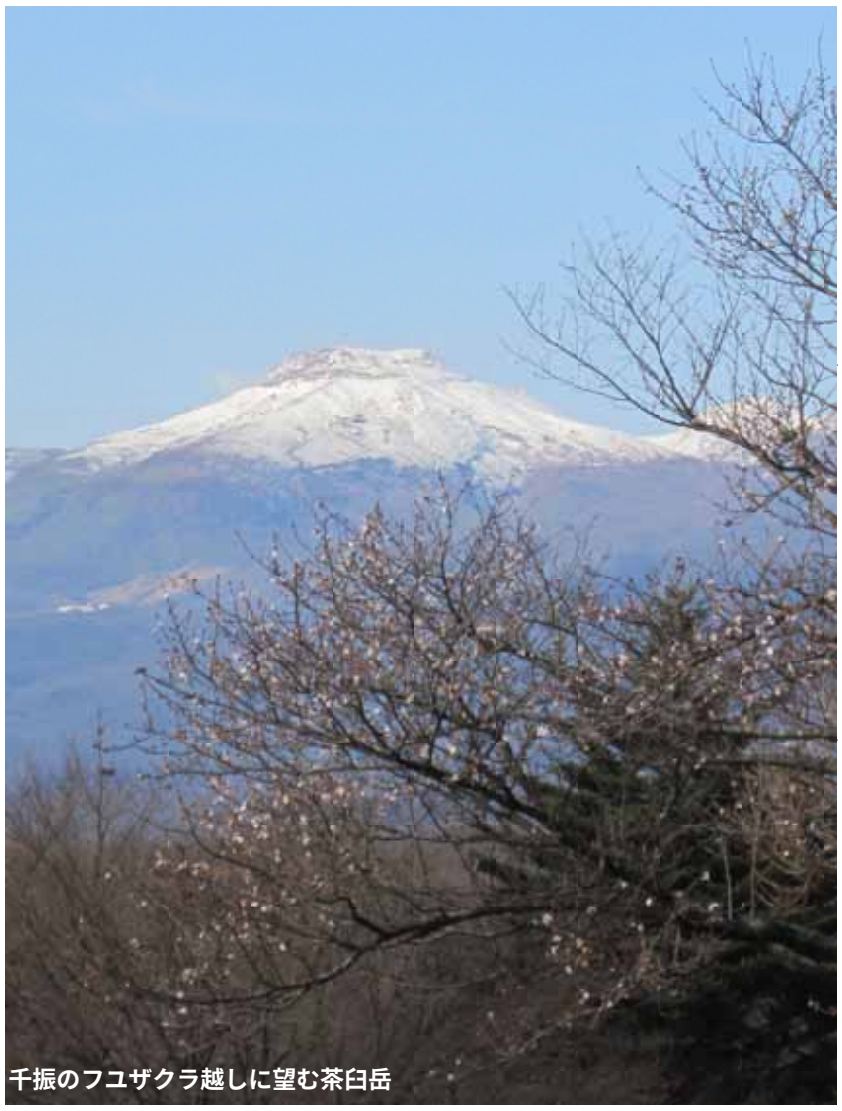
平成２２年　新年号
発行　　東豊開発株式会社
栃木県那須郡那須町大字高久乙
http://www.touho.jp

謹賀新年

百年に一度といわれる経済混迷のなかで、需要蒸発、デフレの脅威が足元を脅かしています。世は、あたかも、ミヒャエル・エンデが「モモ」に描いた、灰色の男たちによって時間を泥棒されてしまった人々が、慢性的な空虚感に包まれている状態とそっくりです。百年前といえば、時代が大転換して権威の失墜、価値の喪失を伴った明治という近代日本の黎明期。小説「坂の上の雲」に登場する秋山真之は「自分が一日サボれば、日本が一日遅れる」という気概と切迫感をもって奮闘していました。

しかし、現在の私たちにとっての「坂の上の雲」とは何でありましょう。輝く白い雲なのか、雷鳴とどろく漆黒の暗雲なのか・・・。

同じく倦まず弛まずであれば、「怠らず行かば千里の果ても見む　牛の歩みのよし遅くとも」という、寅年生まれの徳川家康の言葉もあります。庚寅の今年、虎千里を走る勢いにあやかりつつ、変化と創造の年であることを期待したいと思います。



千振のフユザクラ越しに望む茶臼岳

管理事務所から

水出し・水抜きのご用命はお早めに

本格的な凍結期を迎え、水道の開・閉栓（水出し・水抜き）が必須です。

オーナーご自身でなさる場合、それぞれの水周り機器の説明書を再確認し、慎重に作業をしてください。

水抜き作業で水抜き栓を開け放しにしたまま浄水が垂れ流しになっている事故が相次いでいます。ご家族や、不慣れなゲストの方がご利用の場合は、特にご注意願います。（量水器のある水道の場合は莫大な水道料金が課せられますし、漏れた水が隣地に噴出して騒ぎになることもあります）

また、弊社にオプション作業をご依頼の場合は、なるべく早めにご用命ください。連休などはご依頼が重なって、急な対応ができない場合もあります。日照時間が短いうえ、日暮れと共に気温も下がり、水抜きが困難なこともありますので、予めご承知ください。

なお、弊社は、大晦日、元日、二日は休業とさせていただきます。

別荘荒らしが急増

昨年秋口から、那須高原各所の別荘地で、家電品・什器等の窃盗事件が多発しています。特に、地デジ切り替えに便乗して、薄型テレビ・デジタルビデオが狙われています。

那須塩原署では、所轄の交番・駐在はじめ別荘地内の警らを強化していますが、まずはオーナーによる十分な戸締りや、鍵を二重にする、建物の周りの整頓などを心がけるよう呼びかけています。泥棒にとっては、簡単に侵入できない＝犯行を諦めるということです。

また、警察によりますと、皆様がご来邸の時、近隣や散歩中に出会った方への挨拶・声掛けをしていただくことで、防犯上大いに効果が有るとのことです。弊社も、分譲地内の巡回・点検に勤めますが、もし不審な人物や車両を目撃した場合は、弊社宛にご連絡をお願いします。

特に、車両は、車種・色・ナンバー（例＝宇都宮０００さ００００）を具体的にお知らせください。

落葉の処理中です

すっかり冬場の嫌われ者となった落葉ですが、十二月から道路の路肩を中心に、順次片付け作業を行っております。

今年は、昨年以上に範囲を広げ、未建築区画に吹き溜まったものも掻き出しております。

別荘の庭については、原則として有料で落葉さらいを行っておりますが、この時期オーナーの皆様がご自身で掃き溜めたものについても、ご所有区画前の道路にまとめて置いていただければ、弊社作業の流れの中で回収するようにいたします。

なお、回収の日時指定については応じかねますのでご了承ください。ご指定による場合は、別途見積もりとなります。

また、ご自身で回収された落葉は、九十リットル入りの透明袋で管理事務所にお持ちいただいたものにつき、従来どおり無料処理いたします。

知っ得情報

黒磯にシネコンがオープン

十二月下旬、黒磯の国道四号線バイパス沿い、スーパービバホームの隣に、九スクリーン・千四百十席を擁するシネマコンプレックス「フォーラム那須塩原」が開業。

数年前に市内唯一の映画館が廃業して以来、黒磯から半径五十キロ以内には映画館がありませんでした。

映画「那須少年記」が話題となったように、官民こぞって那須フィルム・コミッションにより映画の撮影誘致に力を入れたり、毎年那須ショートフィルムフェスティバルを開催たりしているにもかかわらず、封切り映画が手軽に楽しめない状況が続いていました。

工事の完成を待つ映画館

大型ホームセンターに並んでショッピングモールも建設が進んでいます。その一角に開業する映画館は、地域の方ばかりでなく、別荘の皆さんにも朗報といえます。

那須の森 自然観察会

ブナやクヌギの合間にはまばゆいばかりのカエデの紅葉がきらめいていました。文字通りカエルの手のようなものから、お馴染みメグスリノキや、凹凸の無い一枚葉のものまで、散策中にカエデだけでも八種類ほど紹介され、この森の奥深さの入口を垣間見たような気がします。

小紙前号でお知らせしたとおり、事前の応募抽選により、那須の森（仮称）自然観察会が十月末から十一月初旬に開催されました。今回の観察コースとなった森の装いは、戦前戦後炭焼きに供されていたこともあり、うっそうとした原生林というより、私たちが普段目にする那須の里山の感覚でした。

しかし、環境省のアクティブレンジャーからヤマネなどの小動物の話を聞くにつれ、ブナの幹に残された熊の爪痕を見せられるにつけ、この森の存在の格別な意味を感じました。かつては皇室のご休息所だった「清森亭」からは、余笹川上流の渓谷を介して茶臼岳を望む壮大なパノラマが広がっています。

清森亭にいたるご散策路だった道（写真上）は、敷き詰められた砂利の上に落葉が積もり、ギッシュギッシュと踏み行くごと、在りし日の昭和天皇のお姿が目に偲ばれるようでした。

熊の爪痕

皇室のご休息所だった「清森亭」

春夏秋冬 那須が好き

那須高原のシンボル茶臼岳。高原の四季を通して、それぞれの季節の花々、木々の向こうにその悠然とした姿を望む楽しみは、この地に居て、ひとつの醍醐味でもあります。

那須高原を愛する人、お一人おひとりが、きっとマイ・ベスト・ビューポイントをお持ちだと思います。そして、そのシーンの一つひとつには、単に自然への慈しみとしてだけではなく、毎年繰り返される花々の命の物語や、風景の背後にある地域が持つ歴史の物語をも包み込まれていることに気づかされます。

たとえば、沼ッ原から三斗小屋へと抜ける街道には、熊の足跡も、戊辰戦争の名残もあるのです。また、千振開拓のフユザクラには、戦後六十年の厳しい開拓史ばかりでなく、満州千振の哀しい歴史さえ投影されているような気がいたしますます。幾分感傷的に言えば、眼前の茶臼岳は、悠然と白煙を上げながら、果たしてどれだけの生老病死を見届けてきたのでしょうか。それが那須高原の輝きに秘められているとして。

八幡ツツジ群生地よりH21年5月

日出平よりH21年6月

牛ヶ首へ向かうH21年9月

りんどうの郷よりH21年5月

落葉した今、土地形状･冬の気候などの確認がしやすく、計画着手に最適

1月
基本プラン・概算見積
オーナーやご家族のご希望をヒヤリングし、土地の状況も確認のうえ、当地の気候も踏まえたご提案

→

2月
詳細仕様・外観打合せ
基本プランで固めた条件で実際の建築のための実施設計へ、内外装の色・素材や設備機器の選定も

→

3月
各種申請手続・着工
実施設計に基づき、見積→ご承認→請負契約後、建築確認申請はじめ各種手続きをし、現場着工

→

8月
工事完了・お引渡し
土木事務所の建物竣工検査、オーナーのチェックをへて、建物お引渡し、待ちに待ったご利用開始

土地のオーナーの皆様には、ご所有区画内の樹木点検等も含めご来場をお待ちしております。また、建築相談に限らず、土地のご売却等についてもご相談を承ります。

ライフスタイルに合わせた自由設計

素材を生かした味わいのある内装

落ち着いた和風作りも

火を囲んだ静かなひと時を